

## 会 議 録

会議の名称	(仮称) 那珂川市総合運動公園 第2回恵子区地元説明会		
開催日時	平成30年12月5日(水) 19:00~19:30	開催場所	恵子教育集会所
出席者	1. 恵子区民9人 2. 執行部 教育部 三浦部長 運動公園整備推進室 後藤室長、眞鍋(翔)、山口係長、中村(清) 地域整備部長 白水部長 建設課 上溝課長 都市計画課 鶴田係長 産業課 藤野(尊)係長 文化振興課 佐藤補佐		
配布資料	別添のとおり		
内容	<p>1. 教育部長あいさつ</p> <p>2. (仮称) 那珂川市総合運動公園基本計画について             ①経過報告について             ②今後のスケジュールについて</p> <p>3. 質疑応答</p> <p>参加者：万が一埋蔵文化財が出てきたらどうなるのか。          市：民間開発も一緒だが、那珂川市、そして日本全国掘れば何かしら出てくるといふことがある。こういう開発をしていく段階で埋蔵文化財が出た場合、遺物についてはそれを収集して市が保管する。遺跡については記録ということに残していくことになる。そういったことで、今後埋蔵文化財の調査、遺跡地が出れば発掘をして記録に残していく。</p> <p>参加者：それによってスケジュールがだいぶ遅れることはないのか。前回北中の時も出たために遅れたではないか。          市：今現在関係課と協議をしているが、この2か年の中できっちりできていくということ考えている。</p> <p>参加者：木棺とか出たらどうなるのか。          市：考え方は文化財と同じある。他にないか。</p> <p>参加者：一応、工事期間が3年間とあるが、造成とか施設についても大規模な工事と考えていいか。学校建設などでもだいたい1年2年とかであり、それより長いということはかなり大きいものなのか。          市：まず学校と比べて面積が倍ぐらい広い。造成する面積もかなり広いので工事</p>		

期間については余裕を持った工事期間にしている。

参加者：外へ運ぶ土量とかもかなり多いのか。

市：まだ現段階では搬入土を入れるかどうかについては検討ができていない。明確な答えができないが、地形的にも段差があるため、造成の設計の前段階においてきちんと説明をしていきたいと考えている。

参加者：一回目の時に私たちが言ったのは、反対はしていないけれども、工事になった時にダンプカーが何百台も出入りする等で、交通の件が心配である。別途道路をつくるというような話もあったかと思うが、どういう工事になるかは時期が来たら説明してもらえるのか。

市：もし搬入があるということになれば、搬入経路や1日の台数についてもきちんと説明したいと考えている。

参加者：先ほどPPPの話があったが、PPPというのは設計と工事と運営管理というそういうものをメーカーに出す、そのことを含めて検討するということか。

市：そうである。

参加者：これはコスト的に市の負担が下がるということか。

市：ひとつは、整備と工事と運営ということで企業に組んでもらいそこが一体的にするということになればそれだけ経費が安い。従来通り私たちが発注すると、工事を発注する、運営を発注する、そういう一つ一つに対してコストがかかっていく。また、一度に私たちがすると、単年度の工事費が大きくなるため、運営をしてもらう20年、15年なら15年の期間の中で均等に払っていくことで、財政的な運営を助けるということもある。

参加者：了解した。

市：他に無ければ、非常に短時間ではあったが、本日は説明会を終わらせていただく。